別記第４号様式

制限表面上に出る障害物件の設置申請書

 　　　 年　　月　　日

　熊本県知事　　　　　　　様

　　　　　　　　　　　　　　　申請者　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　 　 （法人にあっては、主たる事務所の所在地）

　　　　　　　　　　　　　　 　 氏名 　　 印

　　　　　　　　　　　　　　　 　 　 （法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

 航空法第４９条第１項但し書きの規定により、下記のとおり天草空港の水平表面上に出る障害物件の設置について承認いただきますよう申請します。

記

１．設置者

|  |  |
| --- | --- |
|  住　所 |  |
|  氏　名 |  |

２．名称、構造、色及び数

|  |  |
| --- | --- |
|  名　称 |  （例）「○○会社の○○号館ビル（の避雷針）」、「工事用○○クレーン○ｔ」等 |
|  構　造 |  （例）「鉄筋鉄骨構造、地上○階地下○階」、「鉄骨構造○○型」等 |
|  色 |  |
|  数 |  （例）「○棟」、「○基」、「○本」等 |

 注）申請物件が複数ある場合は、申請物件に申請番号を明記してください。

　　（以下各項目とも同じです。）

３．設置場所

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  　住　所 |  |  注）航空法施行規則第９ ２条の５第２号該当物件 の場合は、建築物件の名 称を具体的に記入くださ い（例：○○ビル屋上等。） |
|  　 緯度経度 |  北緯： 度 分 秒 |
|  東経： 度 分 秒 |

４．地表からの高さ及び海抜高

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  地表からの高さ |  ｍ |  注１）海抜高について 「東京湾の平均海面」か らの高さ（TP）を記入し てください。 注２）航空法施行規則第 ９２条の５第２号該当物 件の場合は、不要です。 |
|  物件の海抜高 |  ｍ |
|  飛行場標点からの高さ |  ｍ |
|  飛行場標点からの距離 |  ｍ |
|  飛行場標点からの真方位 |  度 |

５．設置のための工期及び制限表面上に出る期日

|  |  |
| --- | --- |
|  設置のための工期 |  年　　　月　　　日　から 　　　　 年　　　月 日 |
|  制限表面上に出る期日 |  年　　　月　　　日　以後 |
|  竣工予定期日 |  年 月 日 |

　注）竣工予定日は、航空法施行規則第９２条の５第１号該当物件の場合は、不要です。

６．制限表面上に出る高さを必要とする理由

 設置場所を選定した経緯及び申請物件の高さを必要とする理由等を具体的に書いてください。

　　本来、航空法により制限表面上を突出して物件を設置することは禁止されています。禁止を解除するためには、それ相応の事由が必要です。

７．航空障害灯及び昼間障害標識の設置の有無

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  航空障害灯 |  　　有・無（規格及び設置数） |  |
|  昼間障害標識 |  有・無（マンセル記号（ＪＩＳ規格）） |

 注）設置数及び管理については、大阪航空局保安部航空灯火・電気技術課の指導を受け、その調整結果に基づき記入してください。

８．添付書類

（１）航空法施行規則第９２条の５第１号該当物件の場合

　　ア　申請物件の位置図（縮尺５万分の１）

 国土地理院発行または同院の承認を得た地図（コピー不可）に当空港の着陸帯及び制限区域（進入区域、転移表面、水平表面）を記入したものを使用。

 また、申請物件の位置を＋印で明示し、地図の余白まで垂線及び水平線を記入し申請物件の緯度経度を読みとれるようにしてください。

　　イ　申請物件の構造図（立面図等）

　 ① 配置図・・・申請物件を設置する場所の配置がわかるもの

 ② 構造図・・・物件の構造がわかるもの

 ③ 立面図・・・建設物本体との関係及び行程により仮設物件の最高頂が変わる場合は各工程のもの

　　　　注）立面図、構造図については、航空障害灯または昼間障害標識を設置する場合、大阪航空局保安部航空灯火・電気技術課との調整結果に基づき設置個所等を記入してください。

　　ウ　工事行程表

（２）航空法施行規則第９２条の５第２号該当物件の場合

　　ア　（１）アと同じ

　　イ　申請物件の構造図（立面図等）

 ① 配置図・・・避雷針を設置するビルの配置及び設置個所がわかるもの

 ②　平面図・・・避雷針を設置するビルの地下、地上及び屋上の各階平面図及び設置個所がわかるもの

 ③　立面図・・・避雷針を設置するビル及び避雷針本体を横から見た立面図（東西南北）

 　注）申請物件の地盤からの高さ（地上高）及び海抜高を必ず記入してください。

　　　　　注）立面図、構造図については、航空障害灯または昼間障害標識を設置する場合、大阪航空局保安部航空灯火・電氣技術課との調整結果に基づき設置個所等を記入してください。

　　エ　その他担当者から添付するよう指示された書類

（３）航空法施行規則第９２条の５第３号該当物件の場合

　　ア　（１）アと同じ

　　イ　申請物件の構造図（立面図等）

 ①　配置図・・・申請物件を設置する場所の配置がわかるもの

 ②　平面図・・・地下、地上及び屋上の各階平面図

 ③　立面図・・・申請物件を横から見た立面図（東西南北）

　　　　注）立面図、構造図については、航空障害灯または昼間障害標識を設置する場合、大阪航空局保安部航空灯火・電氣技術課との調整結果に基づき設置個所等を記入してください。

　　ウ　周辺の山または既存物件との関係図（次のそれぞれについて平面図、断面図を作成してください。）

 ①　申請物件の海抜高より高い山または既存物件との関係

 ② 航空障害灯及び昼間障害標識が設置されている既存物件との関係

 平面図は、都市計画図等に次の要件を記入してください。

 　a.　申請物件及び既存物件の名称、地上高、海抜高、航空障害灯及び昼間障害標識の有無

 b.　申請物件と既存物件との直線距離（物件の中心間の距離）

 断面図は、次の要件を記入してください。

 a.　東京湾の平均海面を示す線

 b.　申請物件、既存物件及び周辺の山の地盤の海抜高を表す線

 c.　申請物件、既存物件及び周辺の山の立面図（地上高、海抜高、航空障害灯及び昼間障害標識の設置の有無を含む）

 d.　申請物件と各既存物件及び周辺の山との直線距離

　　　エ　その他担当者から添付するよう指示された書類

備考１　申請者欄の氏名（法人にあっては代表者の氏名）を自署する場合は、押印は不要です。

 ２ 申請者が複数になる場合は、申請者毎に上記項目を記入してください。

３　設置者と申請者が異なる場合は、委任状を添付してください。

　　４　地図、図面等を含め、Ａ４判に調整のうえ１部を提出ください。